

株式会社日本介護センター

# にっかい通信

NIKKAI NEWS

Vol.088

2023

春号



レクリエーション紹介  
～コロナ禍の室内レク～  
日介ケアセンター六町



ご利用者の紹介  
～美術に関わる生涯～  
日介訪問看護ステーション



ご利用者の紹介  
～吉祥寺に長く暮らして～  
日介センター吉祥寺

## 2022 年度社員総会 3月23日

今年度の社員総会も前年度同様にリモートで開催いたしました。当社の現状及び介護保険の展望を社員一同で共有し、社員企画コーナーでは各拠点のカラーのある社員紹介が行われました。

介護業界全体で、人材不足と ICT 化の遅れが懸念されており、当社も例外ではございません。加えて、介護保険は制度ビジネスなので、基準を遵守できる人材育成にも尽力しなければなりません。課題は多くありますが、社員企画コーナーで改めて見た当社の社員達とならば乗り越えていけると確信できる総会となりました。

## レクリエーション紹介

～コロナ禍の室内レク～

### 日介センター六町



←季節に合わせた行事レクを行っている様子

足立区にある日介ケアセンター六町は認知症対応型のグループホームとデイサービスの事業を行っている施設です。ここ3年ほどはコロナ禍の影響で思うように外出が出来なかったこともあり、室内で行う企画を取り入れました。

### ○グループホーム

毎月のレクリエーションとして、季節に合わせた行事を取り入れた“室内レク”を企画しています。様々な工夫を凝らし、プチ運動会や夏まつり、敬老会や音楽祭、クリスマス会などを行っています。その他にも、ティーパーティーとしまして、皆様にはお洒落をしていただき、好きな果物などを盛り付けてお茶などと一緒に召し上がっていただく“おやつレク”を企画しました。いつもと異なる雰囲気、皆様の会話も弾んでいました。



### ○デイサービス

毎月恒例のレクリエーションとして、“おやつレク”、“スイーツレク”そしてグループホームと同様に季節の行事に合わせた“室内レク”があります。おやつレクはご利用者と一緒におやつを手作りし、スイーツレクは話題となっているコンビニスイーツを召し上がっていただきます。季節の行事に合わせた室内レクは様々ですが、今冬からは冬ならではの企画として“大鍋レク”の日を設けました。ちゃんこ鍋、豚汁、寄せ鍋、おでんなど、メニューを変えてご提供しています。



寒い日に皆様と分け合って食べる温かい食事は大変好評でした。また、2月からは“みそ汁週間”を設定し、月ごとに各地のご当地味噌を使った手作りのみそ汁を提供しています。



具材の準備はご利用者と一緒に行っています。皆様ベテランなので素早い手さばきであっという間に料理が出来あがります。

散歩以外の外出はなかなか行えませんが、室内での企画を提案することで、笑顔あふれる時間を過ごしていただけています。

## ご利用者の紹介

～吉祥寺に長く暮らして～

### 日介センター吉祥寺



日介センター吉祥寺を利用されている伊藤文子さんをご紹介します。

伊藤さんは吉祥寺東町で80年以上生活され吉祥寺の町の移り変わりを

目の当たりにされてきました。太平洋戦争中は現在の緑町付近にあった中島飛行機が空襲を受け、伊藤さんのお宅の近隣にあった大きな防空壕へ逃げ込んだとのこと。この時期には地方へ疎開もされたそうです。

戦後は銀行へ勤務した後、結婚され専業主婦として2人のお子さんを育てられました。

幼い頃からお琴を習われ、大正琴も30年程続けられています。大正琴で琴の楽曲、シャンソン、歌謡曲など様々な曲を弾かれてきました。以前はボランティア活動でデイサービスのご利用者に披露されていました。現在は時々、伊藤さんが弾く琴に合わせて、ひ孫さんに歌をうたってもらうことを楽しみにされています。

伊藤さんは週に2回、短時間のデイサービスで運動を続けています。他のご利用者との会話も楽しみの一つとのこと。デイサービスへの参加に意欲的です。



## ご利用者の紹介

～美術に関わる生涯～

### 日介訪問看護ステーション

日介訪問看護ステーションをご利用いただいている緒方規矩子さんをご紹介します。

緒方さんは小学校の担任の先生から絵を褒められたことがきっかけで、戦後京都の美術大学に入学されました。その当時は、女性が5名しかいなかったそうです。在学中にデザインなども学び、舞台衣装に携わることがありました。卒業後、某企業に就職されますが、演劇及び衣装のデザインの楽しさが忘れられず退職され、上京し舞台衣装デザインの世界へ飛び込まれました。



その頃は、舞台衣装デザイナーの地位は確立されておらず、本当に大変だったそうです。演劇やバレエ、オペラなど数多くの舞台衣装に携われ、昨年まで仕事をされていましたが、病状が悪くなり思うように体を動かせなくなった為、一線から離れることとなりました。夢を追いかけた70年は大変なこともあったそうですが、楽しかったと笑顔で話されていました。



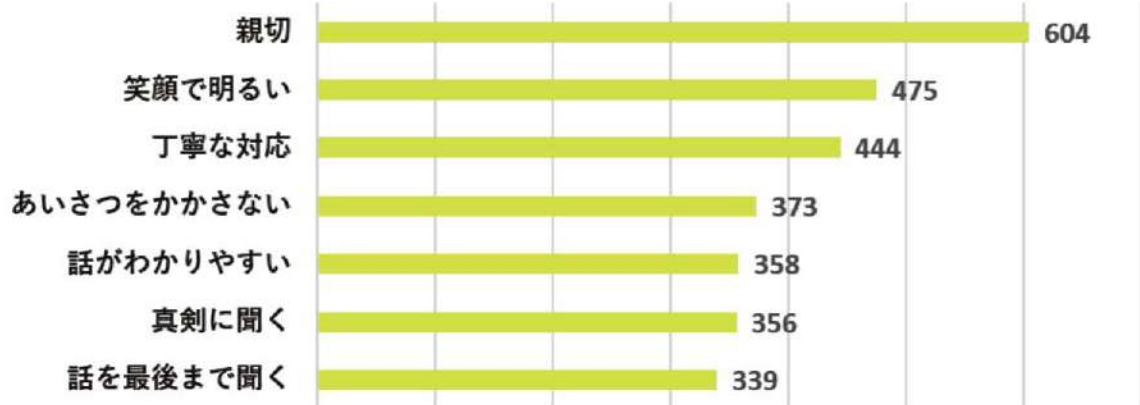
3枚とも緒方さんがデザインされた舞台衣装です。

# 顧客アンケート～集計結果のご報告

ご利用者の皆様へ毎年サービスに関するアンケートを実施しております。多くの皆様にご協力をいただき心から御礼申し上げます。前年度のアンケート結果にて、ご利用者及びご家族が当社の社員に対して重視していることは「相談のしやすさ」ということがわかりました。今年度はその結果から更に、当社の社員の対応について、「相談をしやすい」と感じる点を伺いました。集計結果の一部を掲載します。

全社（回収数 807 通）

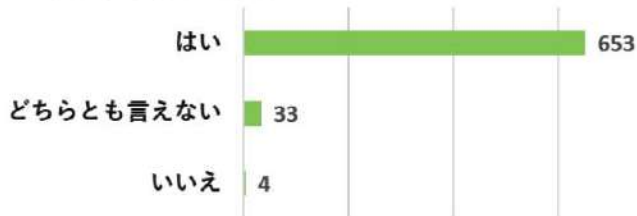
日介（ケア）センター社員の対応について、「相談をしやすい」と感じるのはどのような点ですか？（複数回答可）



支店（回収数 695 通）

【居宅支援・訪問介護・訪問看護・福祉用具】

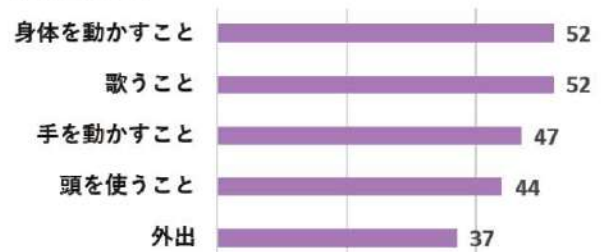
日介センター社員からのサービス等の説明はわかりやすいですか？



施設（回収数 112 通）

【通所介護・短期入所・認知通所・グループホーム】

レクリエーションでしてみたいことは何ですか？（複数回答可）



相談をしやすいと感じる点は「親切」が最も多く、全回答数 807 件の内、74.8%である 607 名の方が選んでくださいました。次点で「笑顔で明るい」、「丁寧な対応」と続きます。支店では、90%以上の方からサービス等の説明がわかりやすいとご回答をいただいています。施設では、半数近くの方が「身体を動かすこと」、「歌うこと」をレクリエーションで希望されていました。いただいたご回答を基に、今後もご満足いただけるサービスを提供できるように社員一同、努めてまいります。

## ・日介センター

代々木・蒲田・足立・足立東・足立西・杉並  
吉祥寺・目黒・豊島・島根・竹の塚・訪問看護

## ・日介ケアセンター

花畑・本木・六町・島根・成田東  
編集責任者：(株)日本介護センター



発行元/株式会社日本介護センター

東京都文京区本郷 3-23-14 ショウエイビル 2 階

Tel:03-3830-6140 Fax: 03-3830-6141

<http://www.nikkai-center.co.jp> [info@nikkai-center.co.jp](mailto:info@nikkai-center.co.jp)

発行日/令和 5 年 4 月 20 日

